

# 岩手県立宮古北高等学校 令和元年度第2回学校評議員会

日時：令和2年2月26日（水）16：00～17：00

会場：岩手県立宮古北高等学校 大会議室

学校評議員出席者： 照井正孝 宮古市立田老第一中学校 校長  
田村清子 宮古北高等学校 教育振興会長  
野崎仁也 宮古市立田老公民館長

## 1 目的

本年度の学校概況及び学校運営方針と、運営方針に基づいた各分掌の教育指導計画等を明示しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する学校活性化のための方策について意見を集め、本校教育の充実発展に寄与することを目的とする。

## 2 学校概況説明

### (1) 学習指導課教務関係について【教務】

- ① 「わかりやすい授業を行っている」と答えた生徒の割合目標達成した。
- ② 岩手の授業づくり3つの視点を重視して取り組みたい。
- ③ 学習時間は昨年度よりも上がったが、更に上昇させたい。

### (2) 学習指導課進路指導関係について【進路指導】

- ① 「田老学」のあり方について模索中である。外部講師をお呼びして、来年に繋がる授業を実施している。
- ② 小論文指導は実際には個別指導として対応した。次年度は年間を通して計画的に実施したい。
- ③ 就職希望者は全員内定をいただいた。進学は残り1名が一般入試を受験している。保護者の理解を得て進路指導を進めていきたい。

### (3) 生徒指導課教育相談関係について【教育相談室】

- ① ユニバーサルデザインを推進している。
- ② いじめ対策委員会を予定通り実施した。

### (4) 生徒指導課生徒指導関係について【生徒指導】

- ① 盗難事案もあったが様々な注意喚起を行い、年度後半は発生しなかった。
- ② いじめや暴力のない学校作りについて目標達成した。
- ② ボランティアに参加する生徒が固定化していることが課題である。受動的な生徒への働きかけを改善したい

### (5) 地域・PTA・復興教育【副校長】

- ① 全校集会「宮北の森」ではいじめについてのグループワークを実施した。
- ② 地域からの要請には可能な限り対応している。
- ③ 小規模校サミットに参加し、成果を全体に共有している。

### (6) 令和元年度学校間交流について【副校長】

- ① 遠隔教育を岩泉高校と連携して実施した。
- ② 青山学院高等部との意見交換会を実施した。

### (7) 令和元年度いじめ対策委員会について【副校長】

### (8) 令和元年度県立学校復興担い手育成事業応援団リーダー研修について【副校長】

研修を受けた生徒は見違えるような成長を遂げた。成果を発表する場がないことが課題である。

(9) その他

### 3 質疑応答

#### (1) 学校評議員

ユニバーサルデザインについての評価指標において達成状況が91%にもかかわらず、自己評価がCとなっている。評価指標が適切でないのではないのか。

→修正する。

#### (2) 学校評議員

いじめの対応について教えて欲しい。

→いじめアンケートを実施して速やかに対応し、保護者への連絡を行っている。

#### (3) 学校評議員

学校生活に充実感を感じている生徒の割合が92%を達成しており素晴らしい。A評価とB評価の割合を教えて欲しい。

→A評価37%、B評価55%である。

#### (4) 学校評議員

保護者アンケートの回収率を教えて欲しい。

→86.1%（昨年度は92.4%）である。

### 4 学校評議員助言

#### (1) 学校評議員

実績を上げていることに感心する。北高を受検する生徒に「宮北のイメージ」を聞くと、一人一人の力にあった指導、寄り添った指導をしてくれる学校ということが子供たちにも浸透していることが分かる。

一人一人にきめ細やかに指導しており素晴らしい。

#### (2) 学校評議員

生徒数が増加しており素晴らしい。生徒の元気、活気がないのが気になる。近年、少しずつ生徒の元気がなくなってきているように感じる。生徒から挨拶が無いわけではないが、元気の良いあいさつをして欲しい。

#### (3) 学校評議員

評価をしながら業務を進めている。評価は取り組みの振り返りツールである。細かすぎる必要はないと思うが、チェックしながら進めてもらいたい。志願者数が多く、北高の頑張りを評価している。

### 6 その他

#### (1) 退任する評議員への謝辞【校長】

本校に対し多大なる貢献をいただいた。

#### (2) 全体について【校長】

真摯なご意見をいただいた。職員で共有し、肝に命じて改善していきたい。